

LAN ドライバ(R148N.EXE)アップデート手順書

1. はじめに

本手順書では、LAN ドライバおよび Intel® PROSet のアップデート方法について説明しています。
本手順書の適用範囲は下記の通りです。

1.1. 対象OS

＜対象 OS の製品名と省略形式＞

省略形式	対象 OS の製品名
Windows Server 2003 (32Bit)	Microsoft® Windows Server® 2003 Standard Edition Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise Edition
Windows Server 2003 (64Bit)	Microsoft® Windows Server® 2003 Standard x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Standard x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003 Enterprise x64 Edition Microsoft® Windows Server® 2003 R2 Enterprise x64 Edition
Windows Server 2008 (32Bit)	Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (32Bit) Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (32Bit)
Windows Server 2008 (64Bit)	Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (64Bit) Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (64Bit)
Windows Server 2008 R2	Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise

1.2. LANドライバのバージョン確認

以下の手順を参照し、LANドライバのバージョンを確認してください。LANドライバのバージョンが同じ、もしくはより新しいバージョンの場合、アップデートの必要はありません。

対象 OS	LANドライバ名	ドライババージョン
Windows Server 2003 (32Bit)	e1e5132.sys	9.13.16.0
	e1q5132.sys	11.1.6.10
Windows Server 2003 (64Bit)	e1e5132e.sys	9.13.16.0
	e1q51x64.sys	11.1.6.10
Windows Server 2008 (32Bit)	e1e6032.sys	9.13.16.0
	e1q6032.sys	11.1.6.10
Windows Server 2008 (64Bit)	e1e6032e.sys	9.13.16.0
	e1q60x64.sys	11.1.6.10
Windows Server 2008 R2	e1e6232e.sys	9.13.16.0
	e1q62x64.sys	11.0.103.10

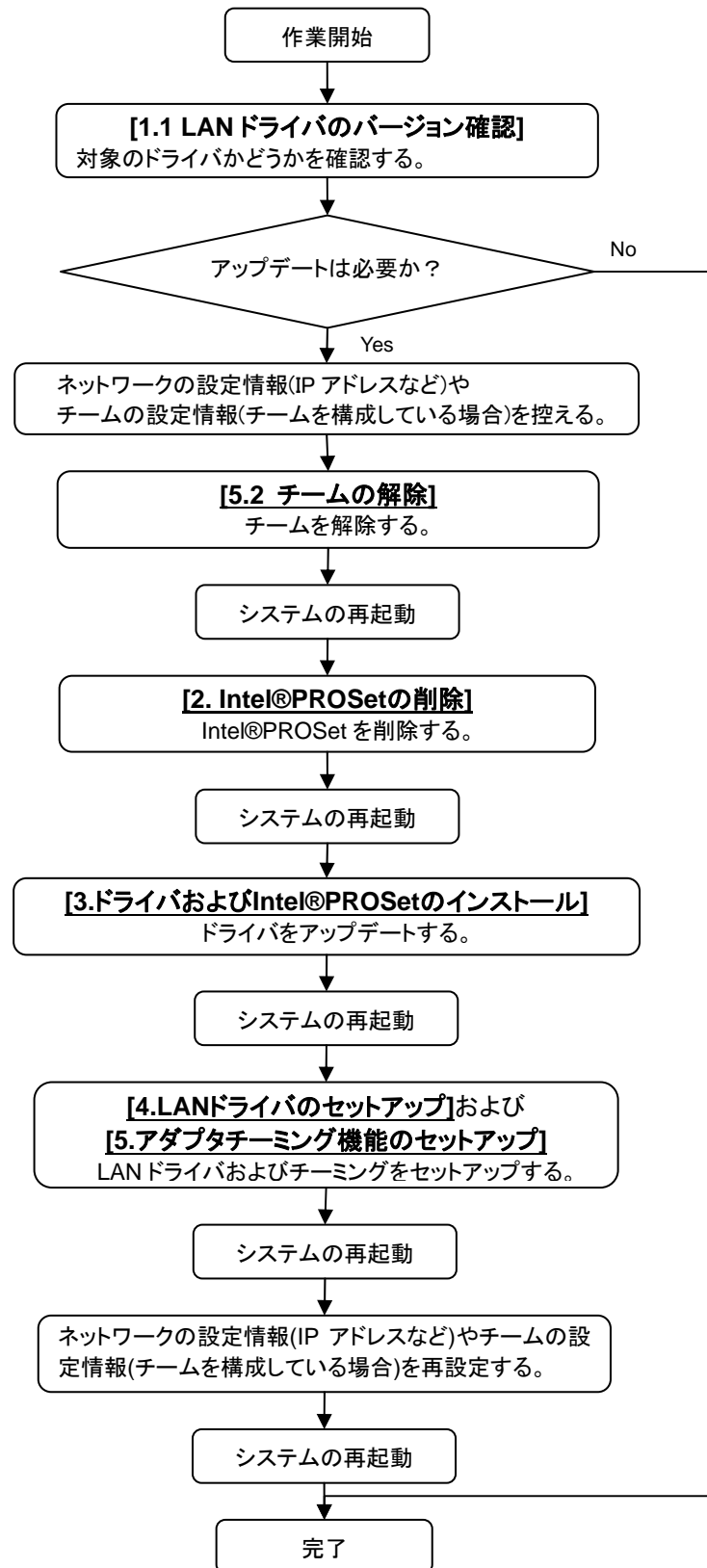
1. システムを起動し、Administrator 権限のあるユーザでログオンします。
2. 「デバイスマネージャ」を起動します。
3. [ネットワークアダプタ] 配下の[Intel(R) ~~~]をダブルクリックし、プロパティを表示させます。
4. [ドライバ]タブの[ドライバの詳細]をクリックし、[ドライバファイルの詳細]を開きます。
5. [ドライバ]タブ内のバージョン、[ドライバファイルの詳細]内の対象 LAN ドライバのバージョンを確認します。

1.3. ドライバアップデートモジュールの解凍

ドライバアップデートモジュール(R148N.EXE)は、自己解凍形式のファイルです。任意のフォルダ(例 C:\temp)に解凍してください。

1.4. LANドライバアップデートの流れ

ドライバをアップデートする際の作業の流れを以下の図で説明しています。以下の図を参照し、ドライバをアップデートしてください。



2. Intel®PROSetの削除方法



アダプタチーミング機能が設定されている場合、「4.2 チームの解除」にしたがってチームを解除してから Intel®PROSet を削除してください。



アダプタチーミング機能が設定されている状態でデバイスマネージャ上からドライバの削除を行わないでください。



Intel®PROSet を削除すると、IP アドレスなども消えてしまいますので、削除の前には IP アドレスなどの設定情報を控えておき、再インストール後に改めて設定してください。

本章では、Intel®PROSet の削除方法について説明します。

Intel® PROSet をご使用の場合は、以下の手順を参照し、LAN ドライバのアップデートを行う前に Intel® PROSet を削除してください。

1. システムを起動し、Administrator 権限のあるユーザでログオンします。
2. コントロールパネルから [プログラムの追加と削除]、[プログラムのアンインストール]または[プログラムの機能]を起動させます。
3. リスト中に以下が存在していることを確認します。
Intel (R) PRO Network Connections xx.xx.xx.xx
※xx.xx.xx.xx は任意の数字



Intel(R) Pro Network Connections Drivers は PROSet ではありません。削除しないでください。

4. [Intel (R) PRO Network Connections xx.xx.xx.xx]が存在しない場合は、「3.ドライバと Intel® PROSet のアップデート」に記載の手順に進んでください。
存在する場合は 5 へ進みます。
5. [Intel (R) PRO Network Connections xx.xx.xx.xx]を選択して[アンインストールと変更]をクリックします。
選択画面が表示される場合はすべての[ドライバ]と[ソフトウェア]を選択し[削除]をクリックします。
6. ダイアログが表示されたら[はい]ボタンをクリックしてください。自動的にアンインストールが開始されます。
[Install Shield ウィザードを完了しました]画面が表示された場合は、[完了]をクリックします。
7. リスト内から、「Intel (R) PRO Network Connections xx.xx.xx.xx」が存在しないことを確認した後、全てのウインドウを閉じて、システムを再起動します。

以上で Intel®PROSet の削除は完了です。引き続き、「3.ドライバと Intel® PROSet のアップデート」に記載の手順を実施してください。

3. ドライバとIntel®PROSetのアップデート



チェック

LAN ドライバのアップデート作業開始前に、IP アドレスなどの設定情報を控えておき、アップデート後、必ず設定情報を確認してください。

本章では本体標準装備の LAN および増設 LAN カードのドライバ、および、Intel®PROSet のアップデート手順について説明します。以下の手順を参照し、LAN ドライバ、および、Intel®PROSet を適用してください。

3.1. ドライバおよびIntel®PROSetのアップデート

1. システムを起動し、Administrator 権限のあるユーザでログオンします。
2. エクスプローラを起動します。
3. 以下のフォルダに格納されている[DxSetup.exe]をダブルクリックし、起動します。
 - ☐ **Windows Server 2003 (32Bit)**
[ドライバアップデートモジュールを解凍したフォルダ]¥R148N¥APPS¥PROSETDX¥Win32
 - ☐ **Windows Server 2003 (64Bit)**
[ドライバアップデートモジュールを解凍したフォルダ]¥R148N¥APPS¥PROSETDX¥Winx64
 - ☐ **Windows Server 2008 (32Bit)**
[ドライバアップデートモジュールを解凍したフォルダ]¥R148N¥APPS¥PROSETDX¥Vista32
 - ☐ **Windows Server 2008 (64Bit)**
[ドライバアップデートモジュールを解凍したフォルダ]¥R148N¥APPS¥PROSETDX¥Vistax64
 - ☐ **Windows Server 2008 R2**
[ドライバアップデートモジュールを解凍したフォルダ]¥R148N¥APPS¥PROSETDX¥Win7_x64
4. [インテル® ネットワーク コネクション – InstallShield ウィザード]が表示されますので、[次へ]をクリックします。
5. 使用許諾契約を読み、同意するならば[使用許諾契約の条項に同意します]にチェックをいれ、[次へ]をクリックします。
6. 以下のチェックボックスにチェックが入っていることを確認し、[次へ]をクリックします。
 - ドライバ
 - インテル(R) PROSet for Windows デバイス マネージャ
 - Advanced Network Service
7. [インストール]をクリックし、LAN ドライバおよび Intel®PROSet のインストールを開始します。
8. [InstallShield ウィザードを完了しました]と表示されましたら、[完了]をクリックします。
9. すべてのウインドウを閉じ、システムを再起動します。

引き続き、「3.2 ドライババージョンの確認」、および、「3.3 Intel®PROSet バージョンの確認」を参照し、正常にアップデートされていることを確認してください。



チェック

使用許諾契約に同意しない場合は、インストールを継続できません。



チェック

Intel®PROSet をインストールすると、ネットワークアダプタの[プロパティ]画面にてアダプタの詳細情報を確認することができるようになります。

3.2. ドライババージョンの確認

本項ではドライバのバージョン確認方法について説明します。「1.2 LANドライバのバージョン確認」の手順を参照し、表中のドライババージョンのドライバが適用されていることを確認してください。

3.3. Intel®PROSetバージョンの確認

本項では Intel®PROSet のバージョン確認方法について説明します。以下の手順を参照し、Intel®PROSet のバージョンを確認してください。

1. システムを起動し、Administrator 権限のあるユーザでログオンします。
2. コントロールパネルから[プログラムの追加と削除]または[プログラムと機能]を起動させます。
3. リスト中に以下が存在していることを確認します。
 - ☐ **Windows Server 2003 (32Bit)**
Intel (R) PRO Network Connections 14.8.43.0
 - ☐ **Windows Server 2003 (64Bit)**
Intel (R) PRO Network Connections 14.8.43.0
 - ☐ **Windows Server 2008 (32Bit)**
Intel (R) PRO Network Connections 14.8.43.0
 - ☐ **Windows Server 2008 (64Bit)**
Intel (R) PRO Network Connections 14.8.43.0
 - ☐ **Windows Server 2008 R2**
Intel (R) PRO Network Connections 14.8.43.0

上記バージョンの Intel®PROSet がリスト内に存在していれば、インストールは正常に完了しています。

4. LANドライバのセットアップ

本章では、LANドライバの設定方法について説明します。装置構成に合わせて、設定してください。

4.1. WOLの設定

以下の手順を参照し、ネットワークアダプタの設定を行ってください。



WOL 機能は、標準装備のネットワークアダプタのみサポートしています。増設の LAN ボードでは使用しないでください。

<Windows Server 2008 R2 の場合>

1. [デバイスマネージャ]を起動します。
2. [ネットワークアダプタ]を展開し、[Intel(R) ～～]をダブルクリックします。
[Intel(R) ～～]のプロパティが表示されます。
3. [電力の管理]タブを選択し、[Wake On LAN]内の設定項目を下記の表の設定に変更します。

設定項目	WOL を使用する場合	WOL を使用しない場合
－ “Wake On Magic Packet”	ON	OFF
－ “電源オフ状態からの Wake On Magic Packet”	ON	OFF
－ “Wake On Link”	OFF	OFF
－ “Wake On Pattern Match”	OFF	OFF

4. ネットワークアダプタのプロパティの[OK]をクリックします。
5. すべてのウインドウを閉じて、システムを再起動します。

＜Windows Server 2008 (32Bit)/(64Bit) の場合＞

1. [デバイスマネージャ]を起動します。
2. [ネットワークアダプタ]を展開し、[Intel(R) ～～]をダブルクリックします。
[Intel(R) ～～]のプロパティが表示されます。
3. [電力の管理]タブを選択し、[Wake On LAN]内の設定項目を下記の表の設定に変更します。

設定項目	WOL を使用する場合	WOL を使用しない場合
－ “Wake On Directed Packet”	ON または OFF	OFF
－ “Wake On Magic Packet”	ON	OFF
－ “電源オフ状態からの Wake On Magic Packet”	ON	OFF
－ “Wake on Link”	OFF	OFF



重要

“Wake On Directed Packet”を“ON”に設定しても、シャットダウン状態では、DirectedPacket(※1)でのWOLによるOS起動はできません(スリープ、および、休止状態では起動できます)。

※1

イーサネットヘッダにアダプタのイーサネットアドレスを含むパケットまたは IP ヘッダにアダプタに割り当てられた IP アドレスを含むパケット。

4. ネットワークアダプタのプロパティの[OK]をクリックします。
5. すべてのウィンドウを閉じて、システムを再起動します。

<Windows Server 2003 (32Bit)/(64Bit) にて PROSet がインストールされている場合>

1. [デバイスマネージャ]を起動します。
2. [ネットワークアダプタ]を展開し、[Intel(R) ～～]をダブルクリックします。
[Intel(R) ～～]のプロパティが表示されます。
3. [電力の管理]タブを選択し、[Wake On LAN]内の設定項目を下記の表の設定に変更します。

設定項目	WOL を使用する場合	WOL を使用しない場合
－ “Wake On Directed Packet”	ON または OFF	OFF
－ “Wake On Magic Packet”	ON	OFF
－ “電源オフ状態からの Wake On Magic Packet”	ON	OFF
－ “Wake on Link”	OFF	OFF



重要

“Wake On Directed Packet”を“ON”に設定しても、シャットダウン状態では、DirectedPacket(※1)でのWOLによるOS起動はできません(スリープ、および、休止状態では起動できます)。

※1

イーサネットヘッダにアダプタのイーサネットアドレスを含むパケットまたは IP ヘッダにアダプタに割り当てられた IP アドレスを含むパケット。

4. ネットワークアダプタのプロパティの[OK]をクリックします。
5. すべてのウインドウを閉じて、システムを再起動します。

＜Windows Server 2003 (32Bit)/(64Bit) にて PROSet がインストールされていない場合＞

1. [デバイスマネージャ]を起動します。
2. [ネットワークアダプタ]を展開し、[Intel(R) ～～]をダブルクリックします。
[Intel(R) ～～]のプロパティが表示されます。
3. [電力の管理]タブを選択し、[Wake On LAN]内の設定項目を下記の表の設定に変更します。

設定項目	WOL を使用する場合	WOL を使用しない場合
－ “電力の節約のため、コンピュータでこのデバイスの電源をオフにできるようにする”	ON	ON
－ “このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする”	ON または OFF	OFF



・ “このデバイスで、コンピュータの…”を”ON”に設定すると、スタンバイ状態/休止状態でMagicPacketおよびDirectedPacket(※1)でのWOLによるOS起動が可能になります。

・ シャットダウン状態では、DirectedPacketでのWOLによるOS起動はできません。

※1

イーサネットヘッダにアダプタのイーサネットアドレスを含むパケットまたは IP ヘッダにアダプタに割り当てられた IP アドレスを含むパケット。

4. [詳細設定]タブを選択します。
5. [PME をオンにする]の[値]を下記のように設定します。
 - WOL を使用する場合 : オン
 - WOL を使用しない場合 : オフ
6. ネットワークアダプタのプロパティの[OK]をクリックします。
7. すべてのウインドウを閉じて、システムを再起動します。

5. アダプタチーミング機能のセットアップ

本章では、Intel® PROSetを使用したアダプタチーミング機能のセットアップ方法について説明しています。アダプタチーミングを使用する場合は、以下の手順を参照し、セットアップしてください。



チームの機能、標準装備のネットワークアダプタとLANボードとのチームの組み合わせ、その他注意事項については下記URLの[増設LAN ボード関連]をクリックして表示されるテクニカルガイドに記載していますので、必ず確認してください。

<http://support.express.nec.co.jp/pcserver/category/spec.html>

5.1. アダプタチーミングのセットアップ方法

本項ではアダプタチーミングのセットアップ方法について説明します。

以下の手順を参照し、チーミングのセットアップを実施してください。

1. システムを起動し、Administrator 権限のあるユーザでログオンします。
2. スタートメニューから[コントロールパネル]を開き、[システムとメンテナンス]から[デバイスマネージャ]を起動します。
3. チームを構成するネットワークアダプタの[プロパティ]を開きます。
4. [チーム化]のタブを選択し、「その他のアダプタとチーム化する」にチェックを入れ、[新規チーム]をクリックします。
5. チームの名前を入力後、[次へ]をクリックします。
6. チームに含めるアダプタをチェックし、[次へ]をクリックします。
7. チームタイプの選択で、設定するチームタイプを選択し、[次へ]をクリックします。



対応しているチームタイプは以下のとおりです。

- アダプタフォルトトレランス
- アダプティブロードバランシング
- 静的リンクアグリゲーション
- スイッチフォルトトレランス



Windows Server 2008 R2 にて、アダプティブロードバランシングをご使用の場合、受信負荷分散オプションは、無効に設定してください。

8. [完了]をクリックします。
チームのプロパティが表示されます。
9. チームのプロパティで[設定]タブを選択し、[チームの編集]をクリックします。
10. チーム内のアダプタに対し、プライマリ/セカンダリ設定を行う場合、以下の操作を行います。
 - ー プライマリ設定
プライマリに設定するアダプタを選択し、[プライマリの設定]をクリックします。
 - ー セカンダリ設定
セカンダリに設定するアダプタを選択し、[プライマリの設定]をクリックします。プライマリ/セカンダリ設定を完了した後、[OK]をクリックし、画面を閉じてください。



チェック

プライマリ/セカンダリ設定は以下の手順で確認できます。

- 1) チームのアダプタのプロパティ内にある[設定]タブを表示します。
- 2) [チーム内のアダプタ]の各アダプタに表示されているプライマリ/セカンダリを確認する。

11. [設定]タブ中の[スイッチのテスト]をクリックします。
[スイッチのテスト]画面が表示されます。
12. すべてのウィンドウを閉じて、システムを再起動してください。
実行した結果、問題なしのメッセージが表示されれば、テスト完了です。



チェック

[テストの実行]を行う前に、[設定]タブにてアダプタのステータスが”有効”または”スタンバイ”であることを確認してからテストを実行してください。
エラーが表示された場合、メッセージを参照し、接続しているスイッチの設定を変更してください。

13. システムを再起動します。
以上でアダプタチーミングのセットアップは完了です。

5.2. チームの解除方法

本項ではチームの解除方法について説明します。

以下の手順を参照し、チームを削除してください。



アダプタチーミングのモードを変更する場合、必ず既存のアダプタチーミングを解除してから組み直してください。

Intel®PROSet アダプタチーミングのモード変更機能を使用しないでください。

1. システムを起動し、Administrator 権限のあるユーザでログオンします。
2. スタートメニューから[コントロールパネル]を開き、[システムとメンテナンス]から[デバイスマネージャ]を起動します。
3. [デバイスマネージャ]を起動し、ネットワークアダプタ内のチームアダプタを選択して[プロパティ]を開きます。
4. [設定]タブにある [チームの削除]をクリックします。
5. [チーム設定]画面が表示されますので、[はい]をクリックします。
6. すべてのウインドウを閉じて、システムを再起動してください。

6. 注意事項

本章では、LAN ドライバおよび PROSet を使用する際の注意事項を記載しています。

・リモートデスクトップによる操作について

LAN ドライバおよび PROSet に関する操作は、必ず本体装置に接続したコンソールから管理者権限のあるユーザー (Administrator など) でログオンし、実行してください。OS のリモートデスクトップ機能、または、その他の遠隔操作ツールを使用した操作はサポートしていません。

・RSS(受信側スケーリング)設定について

本ドライバにアップデートした場合、LAN 設定変更ツールによる RSS(受信側スケーリング)の設定変更は、必要ありません。